



表紙写真：新病院幹部
※撮影のためマスクを外しています

がんセンター だより

Tochigi
Cancer Center
Dayori

- P.1 ・ 理事長兼センター長就任のご挨拶
- P.2 ・ 5大事業について
- P.3 ・ 副理事長兼副センター長就任のご挨拶
- P.4 ・ 病院長就任のご挨拶

理事長兼センター長就任のご挨拶

このたび、栃木県知事より任命され、地方独立行政法人栃木県立がんセンターの理事長兼センター長に就任いたしました。栃木県内のがん医療を牽引すべく、全身全霊でがんセンターの運営に携わる所存です。

当センターは「二つの顔」を持っています。一つは、実際にがん患者さんを診療するがん専門病院としての顔であります。症例数が少ないため、豊富な治療経験と高度な専門的知識が求められる骨軟部腫瘍を含む希少がんの診療や、可能な限り患者さんの体への負担を減らした低侵襲治療（ロボット支援手術等）の提供も行ってまいります。また、最新のゲノム情報を利用したゲノム診療も、国立がん研究センターとの連携を密にして行ってまいります。

もう一つは、都道府県がん診療連携拠点病院としての顔であります。栃木県内には、当センターを含め、国が指定するがん診療連携拠点病院等が8箇所と、栃木県が指定する栃木県がん診療連携拠点指定病院及び栃木県がん治療中核病院が10箇所あります。当センターは、県拠点病院として、これらの病院や医師会、歯科医師会、看護協会等の関係団体と連携して栃木県がん診療連携協議会を運営し、本県におけるがん医療の均てん化に取り組んでまいります。また、県が策定した「がん対策推進計画」に基づき、がん医療の質の向上、がん患者さんや御家族に対する支援等、がん対策の中心を今後とも引き続き担って参ります。

2021年度から進めてきた5大事業（病院事業、研究事業、臨床研究管理事業、バイオバンク事業、がん対策推進事業）について、本格的に事業展開していくため、今年度、研究所のリニューアルを行いました。研究事業の更なる充実を図るため、新たにクロスアポイント制度を利用し、国立がん研究センター研究所の近藤格先生を所長にお招きしました。がんの個別化医療を中心に、臨床に密着した研究を強化して参ります。

さらに今年度から、長崎大学医学部医学研究科と連携大学院協定を結び、当センターで行われた研究で、学位の取得も可能となりました。

今後は、新しいがん医療を提供する際に重要となる臨床試験管理事業、臨床検体をアカデミアや医療関係の企業に提供するバイオバンク事業を推進するとともに、研究で得られた知見を素早く臨床に適応する仕組み（TR：トランスレーショナルリサーチ）の構築を目指して参ります。

県民の皆様には最新で質の高いがん医療を提供できるように精一杯努力し、当センターが県民の皆様から一番頼りにされる病院となることを目指して運営して参ります。医療機関の皆様には今後とも、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



理事長兼センター長
尾澤 巖

栃木県民のがんの死亡率の減少

最新のがん医療を県民に提供する



5 大事業

事業責任者

地方独立行政法人栃木県立がんセンター理事長

病院事業

研究事業

臨床研究
管理事業

バイオバンク
事業

がん対策推進
事業

病院事業

患者さんに「安心・安全な最新がん医療を提供する場」としての病院

責任者 病院長

研究事業

最新のがん医療を提供する為の研究を行う研究所と、アカデミアや製薬会社と行う共同研究の結果を臨床にフィードバックする TR 事業

責任者 研究所長

臨床研究管理事業

最新のがん医療を提供する為の事業としての臨床試験管理センターの業務

責任者 臨床試験管理センター長

バイオバンク事業

がんセンターで収集された検体をアカデミアや製薬企業などに提供し、がん治療の発展を促進する事業

責任者 バイオバンクセンター長

がん対策推進事業

がん対策推進計画に沿ったがん医療を県民に提供する為の施策を推進し県内のがん診療連携拠点病院と連携して行う事業

責任者 栃木県立がんセンター理事長

副理事長兼副センター長就任のご挨拶

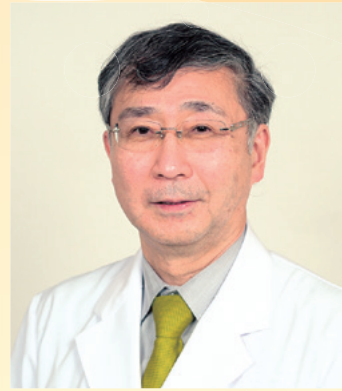
昨年度まで理事・副病院長として、院長を支える立場でしたが、この度、副理事長兼副センター長に就任し、センター長を支える立場となりました。

栃木県立がんセンターは、病院だけでなく、研究所もあり、加えて都道府県がん診療連携拠点病院として、栃木県全体のがん医療水準の向上のために指導的役割を果たしていかなければなりません。このようなセンターの役割を統括する最高責任者がセンター長となります。

副センター長として、センター長をサポートし、がん臨床、がん研究、がん対策に幅広く関われることは、個人的には大変嬉しく思っています。と言いますのも、私自身、がん臨床（大腸がんの外科治療、臨床試験）だけでなく、がん研究（がんの浸潤転移に関連する因子）にも長年関わっていましたので、今年度から研究員が入れ替わり再始動する形となった研究所に関与出来ることは、還暦を超えた身ではありますが知的好奇心をくすぐられます。

がん臨床、がん研究、がん対策、いずれも大切ではありますが、中心となるは、がん臨床です。がん臨床の最近のトピックは、がんゲノム医療です。2019年6月にがん遺伝子パネル検査が保険適用となり、がんゲノム医療が本格的に開始されました。この医療を提供出来るのは、県内ではがんセンターを含む4力所の施設です。がんは、遺伝子変異による疾患であり、がんゲノム医療は、その遺伝子変異を網羅的に検査し、遺伝子変異に応じた薬物療法を選択するという理想的ながん医療なのですが、各種遺伝子変異に対応する有効な薬物が少なく、検査をしても薬物療法を行うに至る症例は、10から20%程度にとどまっています。この割合を改善するには、創薬が必要となるため、直接的には関われませんが、がん遺伝子パネル検査に適応のある患者さんには、もれなく説明し、同意を得られる体制を整えていきたいと考えています。

がんセンターの喫緊の課題は、財務改善です。1986年のがんセンター開院以来赤字の年度が多く、その改善は、がんセンターの長年の課題となっています。2016年に地方独立行政法人となり、以前より改善は見られるものの、まだまだ経営努力が必要です。県民に選ばれるがん専門病院を目指し、センター長、病院長と協働して努力する所存ですので、宜しく願いいたします。

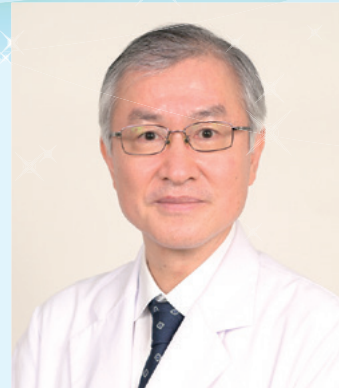


副理事長兼副センター長
藤田 伸

病院長就任のご挨拶

2022年4月1日付けで地方独立行政法人栃木県立がんセンター病院長を拝命いたしました安藤二郎です。就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

私は1991年に栃木県立がんセンターへ入職して以来、乳腺外科医として乳癌診療にあたってまいりました。その間、地域の先生方には患者のご紹介のみならず、検診の推進、医療連携等でお世話になり、この場を借りて感謝申し上げます。今後も乳腺外科科長として乳癌診療にも注力していきますが、病院長職として、栃木県の都道府県がん診療連携拠点病院としての使命を果たすべく努力していきたいと考えております。



病院長
安藤 二郎

当センターは、今年度で開院から36年、地方独立行政法人（以下「独法」という。）として7年目を迎えます。独法は、民間では必ずしも実施されないおそれがある事業を効率的かつ効果的に行うことを目的とし、県が出資して設立する法人です。独法の特長である「自律性」「機動性」「透明性」を活かし、菱沼前理事長、尾澤前病院長が中心となり、各種新規事業の立ち上げや人事・組織再編などを実施してきました。今後、さらに病院運営基盤を高め、栃木県の都道府県がん診療連携拠点病院として、栃木県のがん診療をリードする病院機能の充実を図っていききたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症に対する対応としては、2021年1月から新型コロナ感染対応病床の運用を開始しました。新型コロナ感染患者の治療とともに、がんセンターとしてのがん診療機能を維持すべく、病院全体で新型コロナ感染対応に取り組んでいる状況です。新型コロナ感染の終息がまだ見通せないなか、今後も県立病院としての新型コロナ感染対応とがんセンターとしてのがん診療の使命を果たしていきたいと考えております。

当センターの診療体制は2020年2月から頭頸科が、そして4月から泌尿器科、腫瘍内科、精神腫瘍科が新体制で診療を開始しております。また、希少がんセンターやロボット支援手術センターを開設し、さらなるがん医療の質向上へ前進している状況です。開院以来の当センターの基本理念「学問に裏付けられた最高の技術を愛の心で県民の皆様に提供します」を忘れずに、県民から愛される、そして選ばれる病院となるべく、尽力していく所存です。今後とも御支援、御指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

医療機関の皆様へ予約窓口のご案内

ご紹介いただきありがとうございます。当センターでは、患者さんの症状やご希望に応じた外来診療予約を心がけております。ご予約の際は、下記までご連絡ください。

予約センター ☎ **028-658-5012**

受付時間 平日 8:30 から 16:30

※当センターは、初診、再診ともに予約制となっています。予約センターにお電話のうえ、受診日をご予約ください。また、予約枠に制限があり、ご希望に添えない場合もあります。予めご了承ください。

～当日、患者さんにお持ちいただくもの～

- 保険証、各種医療証
- 診療情報提供書(紹介状)

- 各種検査結果、画像データ(お持ちの方のみ)
- お薬手帳(お持ちの方のみ)
- 当センターの診察券(お持ちの方のみ)

●病診連携に関するお問い合わせ

地域連携センター

☎ **028-611-5503**

平日 8:30 から 17:15

●がんに関するご相談

がん相談支援センター

☎ **028-658-6484**

平日 8:30 から 17:00

●がんの遺伝カウンセリングや、ゲノム医療についての予約やお問い合わせ

ゲノムセンター

☎ **028-611-5480**

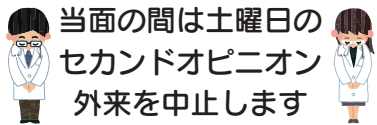
平日 8:30 から 17:00

セカンドオピニオン外来のご案内

■平日午後

	月	火	水	木	金
消化器外科		菱沼 正一 (第2週のみ)	菱沼 正一 (第1・第3・第4・第5 のみ)		
主に胆・膵					
主に肝			尾澤 巖		尾澤 巖
主に大腸				藤田 伸 松下 尚之 藤田 剛 林 雅人 (※過毎の交代制)	
主に食道・胃				横島 一彦	横島 一彦
頭頸科					
肩軟部腫瘍・整形外科	菊田 一貴				

■土曜日午前

 <p>当面的間は土曜日の セカンドオピニオン 外来を中止します</p>	
---	--

※予告なく変更となる場合があります

予約センター ☎ **028-658-5012**(直通) 受付時間 平日 8:30 から 16:30



交通のご案内

電車・バス

- JR宇都宮線「宇都宮駅」より
→西口から関東バス「江曾島行(11番のりば)」に乗車。「がんセンター前」で下車。横断歩道を渡る。徒歩1分。(乗車時間約25分)
- 東武宇都宮線「江曾島駅」より
→東口から関東バス「JR宇都宮駅行」に乗車。「がんセンター前」で下車。徒歩1分。(乗車時間約5分)

自動車

- 東北自動車道「鹿沼I.C.」より
→東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「滝谷町」交差点を右折南進し、JR陸橋を越え3つ目の信号「八千代1丁目」を左折。(約9.4km)
→東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「宮環鶴田陸橋」を右折。「下砥上町」アンダーに入ってすぐ江曾島方向へ左折し7つ目の信号を左折。(約8.2km)

がんセンター
だより Tochigi Cancer Center Diary vol.24

4月号
令和4年(2022)
4月1日発行

発行 地方独立行政法人栃木県立がんセンター 広報広聴センター
〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南4-9-13
TEL. 028-658-5151(代) FAX. 028-658-5669

